

第34回 『尾根畑の収穫、キャベツ収穫、大豆整理、イチゴのマルチかけ』

と き 2012年11月17日(土) 9:30 - 16:15

ところ 尾根の畑、テツさん小屋横のキャベツ畑、ハウス

天 気 くもり ときどき 雨

参加者 石田、梅下早苗・日菜子・浩太郎・裕次郎、高田裕司・直子、坂本、松下、藤田、磯(午前) 計11名(子供3人含む)

【午前】

■尾根畑 ラディッシュ収穫 等

- ・ 雨模様の天気の中、全員で尾根畑へ。ラディッシュを少量(30コぐらい)収穫。
- ・ 大根の間引。全株を一本残しにした(ハズ)。
- ・ サトイモの試し掘り。イモは前週よりも丸く太っていておいしそう。

■テツさん小屋横畑でキャベツ収穫

- ・ 大きくなり過ぎたものや虫食いのものを収穫。畑の約1/3の量(30コぐらい)。
- ・ 先週に続き全部をおみやげにいただけることになった。全員でテツさんにお礼。
- ・ 4玉もいただいてしまうと、どうやって食べきることがうれしい悩み。

■ふたたび尾根畑へ

- ・ 午前中の残り時間で草取り。カヤツリグサを根絶やしにしようという目論見。
- ・ カヤツリグサの根っこは地下10cmぐらいのところに展開している。
- ・ 長い紐のように横に伸びており、先の方に直径2cmぐらいのコブがある。
- ・ コブを残すと生き残るので、根気よく根を手繰るが切れてしまう。
- ・ 尾根畑に繁殖しているカヤツリグサは、恐らく「ハマスゲ」。
- ・ ハマスゲのコブは香附子(こうぶし)と呼ばれて古くから生薬として使われていたようだ^{※1}。へー。
- ・ スペインの方では、カヤツリグサ(の仲間)の地下茎を使って作るオルチャータという甘い清涼飲料があるとのこと^{※2}。
- ・ という蘊蓄は当然あとで調べたものですが、ハマスゲとの格闘途中で雨が降ってきたので作業中断となる。一旦小屋に撤退。

※1: <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%B2>

※2: <http://www.ab-road.net/europe/spain/barcelona/guide/00132.html>

■大豆の整理

- ・ ハウス内で乾燥中の大豆を見に行く。大豆は数株をまとめて逆さにして乾燥。
- ・ 鞆がはじけてこぼれた豆があちこちに散らばっている状況。
- ・ 全員でちらばっている豆を拾い集める作業。ハウス内作業なので雨でも問題なし。

【お昼】雨が本降りとなったためテツさん小屋を使わせてもらい昼食

【午後】

■ イチゴのマルチかけ

- ・ 13時過ぎ、雨で外の作業は無理なため、テツさんの直売所裏のイチゴハウスで、イチゴ苗にマルチを被せる作業を行なうことになった。
- ・ イチゴ台の草取りをして待っているうちに、テツさんがマルチとホッチキスを運んできて、作業のやり方を見せてくれた。
- ・ 温室いっぱい並んだ4台の苗台にはイチゴの苗が1000本植えられているという。
- ・ 各台の上には2列のイチゴ苗ポットがズラーっと並んでいる。
- ・ まず3枚のマルチを真っ白の方を上にして、その苗と苗の真ん中および左右に、端から端までズーっと伸ばし、2mほど余裕を残して切る。
- ・ マルチからイチゴの苗だけが顔を出すように、1つ1つの苗の前後のマルチを端からホッチキスで止めて行くが、何でしわが寄るんだらう、テツさんに笑われてしまった。
- ・ 休憩してホッチキス止めを続けるが先が見えない。テツさんはこれを一人でやってるのかなあと誰かが言った。
- ・ ますます土砂降りとなり、16時過ぎて暗くなって来たため、最後の台をやり終えることができなかったが終了とした。

(記録：磯、藤田)